



**俊敏性と創造力をもって
目の前の生命をつなぐ!!**

超急性期

プレホスピタル Dr.Car出動/DMAT活動

看護師 田中 かおり

普段は初療での受け入れをメインとしながら、火事や事故などの際にはDr.Carで現場に駆けつけます。Dr.Carに乗るのは医師・看護師・運転手の3名が基本。また、初期治療においては病院のように治療資機材がそろっているわけではありません。時間、人材、資機材が限られているなかで、どうすればチームが効率的に動けるのかをその場で見極める俊敏性と判断力、必要な処置を行うために今ある資機材を応用・代用する創造力が不可欠です。それらを発揮することで生命を取り留めることができたとき、大きなやりがいを感じます。大規模な災害・事故時に現場に急行する医療チーム、日本DMAT・大阪DMATの隊員でもあるので、日々経験を積み重ねること、常に「今日かもしれない」という意識を持つことを心がけています。



**迅速な判断と処置により
患者様の生命を救う!!**

超急性期

初療(救急処置室)

看護師 中村 芽紅

専門学校卒業後に入職。病棟で経験を積み、3年目から救急患者様を受け入れる初療に携わっています。初療は迅速に診断や応急処置を行い、適切な処置を施さなければならない“判断の場”。診療や緊急手術の補助にあたる看護師にも、バイタルサインを見逃さない集中力はもちろんな、医師の判断を予測しながら臨機応変に動く判断力が要求されます。スピード感の中で痛感する「まだまだ力不足だ」という思いと、命を助けるというやりがいがあるのが今の私の原動力。先輩の協力を得てシミュレーションを行うなど、対応力の向上に努めています。目標はDr.Carに乗ること。希望が叶い、勉強のために同乗・見学させてもらえるようになったことで、初療におけるスキルアップに向けたモチベーションも高まっています。